

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

ハスの花で埋め尽くされた
伊豆沼

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〈事務局〉
〒989-5504
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
ホームページ: <http://izunuma.org/>
E-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp



満開の二工区 (8月13日撮影)

◇活動報告

【伊豆沼・内沼自然体験講座】

水辺の生き物採集と観察会

8月9日(土), 第4回伊豆沼・内沼自然体験講座「水辺の生き物採集と観察会」を開催しました。夢中になって沼や池にいる生き物を捕まえ、手に触れながら観察しました。昼休みには、トンボの種類や生態などについても学びました。



生き物発見!



捕まえるぞ~!!



捕まえた生き物を観察中



トンボの勉強をしました。

第7回 伊豆沼漁師体験 参加者募集中!

平成26年10月19日(日) 10:00~13:00

対象:小学生以上(小学生の人は保護者と一緒どうぞ)
参加費:600円(昼食代)
集合:宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(鳥館)
募集:20名申込先着
持ち物:長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル

いろいろな網を使い、大小さまざまな魚を捕まえ、漁師のおもしろさを体験してみよう!



【あきる野市の中学生伊豆沼訪問】

栗原市と親善交流を行っている東京都あきる野市の訪問団40名が、去る8月5日伊豆沼を訪れました。訪問団の多くは中学生でしたが、東京ではなかなか見ることができない伊豆沼の水生生物に、興味津々で見入っていました。



職員の解説を熱心に聞く中学生

WANTED



要注意外来生物※
アメリカザリガニ
Procambarus clarkii



罟を使ったアメリカザリガニの捕獲

アメリカザリガニは、今から90年くらい前にウシガエルのエサとして、アメリカから日本に入ってきた外来種です。ため池や田んぼ、水路などの暖かい水辺にすんでいます。

私たちにとって身近な水辺の生き物ですが、日本の自然に与える悪影響については、最近までほとんど知られていませんでした。

アメリカザリガニは雑食性で、水中のあらゆるものを食べます。特に、水草が大好きで、水草が生えているため池にアメリカザリガニが増えると、池の水草が無くなってしまいます。水草が無くなると、これに卵を産みつけるトンボなどの生き物がすめなくなってしまうます。また、岸辺に巣穴を掘って隠れる習性があるため、田んぼのあぜに穴を開けたり、水路の土手を壊してしまいます。

日本の自然を守るためには、アメリカザリガニが増えないようにつかまえたり、まだ侵入していない場所に入らないようにすることが大切です。サンクチュアリセンターでは、水生植物園や伊豆沼で、アメリカザリガニの駆除活動を行っています。

※要注意外来生物の指定→特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(通称、外来生物法)

修繕工事が始まりました

先にお知らせしておりました県サンクチュアリセンターの屋根及び外壁等の修繕工事に7月下旬着手しました。工事用の仮設工事が終わり、9月中旬からは本工事に着手し、遅くとも年内には全て完了する予定となっております。

なお、今年度は本工事に加えまして、館内の展示内装についても全面改装する予定となっておりますが、当該工事につきましては、実施計画等がわかりしだいお知らせ致します。

《仮設工事の状況》

